



# ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ROTOBO

2025年(令和7年)10月15日号 No.2004

## 目次

■ 制裁下ロシアにおける国際送金とオーバコンプライアンス問題	1
■ 統計速報	10
2025年1～8月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／10	
2025年1～8月の日ロ貿易／11	
■ トピックス	14
第2回「中央アジア+ロシア」首脳会合が開かれる／14	
CIS首脳会合が開催／14	
キルギスとの新租税協定が実質合意／14	

## 制裁下ロシアにおける国際送金と オーバコンプライアンス問題

### はじめに

9月17日(水)、ROTOBOはロシア情報提供セミナー「現制裁下ロシアにおける国際送金とオーバコンプライアンス問題」をオンラインで開催し、136名が参加した。今回のセミナーではアジア太平洋銀行(ATB)の専門家にご登壇いただいた。同行はカザフスタンに本社を置き、ロシアにおいてはモスクワの他、極東やシベリアで事業を展開しており、日本企業と多くの取引実績を有する。

ウクライナ侵攻後、ロシアの主要銀行が西側から制裁対象に指定され、またSWIFTから排除されたことで、日本企業を含む外資系企業は送金や決済の現場で多大な困難に直面している。また日本を含む諸外国の金融機関における制裁遵守を超えた過度の取引制限(オーバコンプライアンス)もロシアへの送金や決済の困難に少なからぬ影響を与えていると言われている。

本セミナーでは、対ロ制裁に伴う国際送金における西側諸国の銀行のオーバコンプライアンスの定義や発生する背景、実例を踏まえた対処方法などについて紹介された。また質疑応答では、多数の質問が参加者からあがった。質問内容は送金通貨や制裁に抵触する可能性について、休眠状態の現地法人への送金に関するものなど、送金オペレーションに関するものが多くを占め、ATB側は具体的な方法を示しつつ、日本企業の抱える疑問に回答した。

なおATBは従業員数3,879人、個人顧客数は32万人、法人顧客数は3万社で、ロシアの22の連邦構成主体(州、地方、共和国等)に145の支店を設けている。ロシアの格付け会社ExpertはATBをruBBB+(安定的)に格付けしている。